

本講習に対する本学の考え方



- 教員として必要な知識の確認、または、新しい学問領域や法律を学ぶ場として講習を設けることは、**教職課程の長い歴史を持ち、教員免許状を多く輩出している本学としての社会的使命である。**
- 学習指導要領等制度改正に基づく、現職教員に向けてのフォローアップの講習は、**卒業生への手厚いサービスであると同時に、地域に開かれた大学としての任務でもある。**
- 本学は、**附属校園があり、都内において数少ない初等教員養成をおこなっている私立大学として、川崎市、文京区等の教育委員会や学校等と連携を深め、より質の高い教育を担っていく責任があると考えられる。**今後、本学の教職課程を充実させ、維持していく意味においても、講習開設は重要である

(第1回教員免許更新講習委員会より)

募集・手続き方法



☆応募期間

(1) 1次募集

*対象者・・・**文京区・豊島区・川崎市校園教員(国公立校)、日本女子大学附属校園教員、本学 卒業生教員**

*申込期間・・・**2008年5月19日(月)～24日(土)**

(2) 2次募集

*対象者・・・**一般 他**

*申込期間・・・**2008年6月 2日(月)～ 7日(土)**

☆申込方法

本学HP (<http://www.jwu.ac.jp/>) “資料請求”より「免許更新講習受講申込書」「平成20年教員免許更新講習事前アンケート」をダウンロードし、必要事項記入の上、「郵送」。

☆必要書類等

- ①免許更新講習受講申込書
受講希望の講習内容の箇所に○
- ②平成20年度 教員免許更新講習事前アンケート
- ③写真2枚(内1枚は①免許更新講習受講申込書に貼付) 4cm×3cm
- ④選考結果通知用返信用封筒(80円切手貼付の上宛先を記載)

☆選考方法

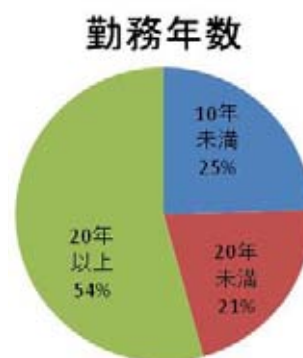
応募者多数の場合は、申込書・アンケートを参考として受講者を選考。

☆選考結果

郵送にて「受講の可否」を通知(2008年6月23日(月) 発送)

応募状況

	定員	1次 申込	2次 申込	申込 総数	倍率	許可 者数	申込 者数	申込者勤務先							年齢構成			勤務年数		
								幼	小	中	高	中高	特支 費	他	30	40	50	10年 未満	20年 未満	20年 以上
必修領域(目白)	50	41	133	174	3.5	78	78	2	31	19	18	3	5	0	18	53	36	17	11	44
必修領域(西生田)	50	25	74	99	2.0	58	56	0	25	14	12	1	4	0	19	26	11	16	19	20
選択領域① 教育現場における心理的諸問題	40	46	147	193	4.8	66	65	2	26	23	12	0	2	0	16	21	28	15	16	33
選択領域② 創造的な活動の実践	40	24	60	84	2.1	82	82	3	57	8	2	1	11	0	20	23	39	19	15	47
選択領域③ 理科実験・観察の取り組み — 実験機器・材料の安全な取り扱い—	40	22	68	90	2.3	63	63	0	35	9	13	2	4	0	12	18	33	15	10	38



平成20年度教員免許更新講習(予備講習)

(受講許可・受講者数)

2008.8.22現在

	必修領域				選択領域					
	目白		西生田		①教育現場における心理的諸問題		②創造的な活動の実践		③理科実験・観察の取り組み	
受講許可者数	79	(50)	58	(50)	66	(60)	84	(60)	63	(60)
取り消し者数	1		4		0		8		8	
受講者数	78		52		66		74		55	
当日欠席	0		2		0		2		0	

()は定員

講習内容

領域	講習名	講座名	キャンパス	日時
必修	教職についての省察並びに子どもの変化、教育政策の動向及び学校の内外における連携協力についての理解	<ul style="list-style-type: none"> * 教育政策の動向についての理解 * 教職についての省察 * 学校の内外での連携協力についての理解 * 子どもの変化についての理解 	目白・西生田	8月18日(月) 8月19日(火)
選択	教育現場における心理的諸問題	<ul style="list-style-type: none"> * 医学的見地から見た発達障害の概念と変遷 * 教育現場における発達臨床の理論と実践 * 子どもの問題行動とその背景 	目白	8月20日(水)
	創造的な活動の実践	<ul style="list-style-type: none"> * 体育: 創造的な運動内容を考える * 図工: 創造的な紙の造形「手で見る絵画」 * 音楽: 子どもの創造的な音楽活動をはぐくむために 	目白	8月21日(木)
	理科実験・観察の取り組み — 実験機器・材料の安全な取り扱い —	<ul style="list-style-type: none"> * 生活に密着した材料の物理的特性 * 身近な化学製品とその取り扱い * 生き物の殖え方と遺伝-植物を中心にした観察・フィールドワーク 	目白	8月22日(金)

必修領域の日程

	8月18日(月)		8月19日(火)	
	目白キャンパス 香雪館301教室	西生田キャンパス 第1会議室	目白キャンパス 香雪館301教室	西生田キャンパス第1 会議室
8:30~9:00	受付 香雪館2F入口付近	受付 第1会議室内	受付 香雪館2F入口付近	受付 第1会議室内
9:00~10:25	教育政策の動向についての理解(C-1) (吉崎)	教職についての省察(A-1) (岩木)	学校の内外での連携・協力についての理解(D-1) (田中)	子どもの変化についての理解(B-1) (飯長)
休憩	(10分)	(10分)	(10分)	(10分)
10:35~12:00	教育政策の動向についての理解(C-2) (佐藤)	教職についての省察(A-2) (澤本)	学校の内外での連携・協力についての理解(D-2) (清永)	子どもの変化についての理解(B-2) (渡邊)
昼休み	(50分)	(50分)	(50分)	(50分)
12:50~14:15	教職についての省察(A-1) (岩木)	教育政策の動向についての理解(C-1) (吉崎)	子どもの変化についての理解(B-1) (飯長)	学校の内外での連携・協力についての理解(D-1) (田中)
休憩	(10分)	(10分)	(10分)	(10分)
14:25~15:50	教職についての省察(A-2) (澤本)	教育政策の動向についての理解(C-2) (佐藤)	子どもの変化についての理解(B-2) (渡邊)	学校の内外での連携・協力についての理解(D-2) (清永)
休憩	(10分)	(10分)	(10分)	(10分)
16:00~17:00	まとめ・試験	まとめ・試験	まとめ・試験	まとめ・試験

選択領域①時程

◎ 教育現場における心理的諸問題 (8月20日(水))
香雪館301教室

9:00~ 9:45	受付 (香雪館2F入口付近)
9:45~10:00	講師紹介と講座内容説明
10:00~11:40	①医学的見地から見た発達障害の概念と変遷 (吉澤)
昼休み	(50分)
12:30~14:10	②教育現場における発達臨床の理論と実践 (請川)
休憩	(10分)
14:20~16:00	③子どもの問題行動とその背景 (岡本)
休憩	(15分)
16:15~17:00	まとめ・試験

選択領域②の時程

◎ 創造的な活動の実践 (8月21日(木))
子どもの創造的な音楽活動をはぐくむために…百年館301・演31教室
創造的な運動内容を考える…小学校体育館
創造的な紙の造形「手で見る絵画」…香102教室

9:00~ 9:30	受付 (香雪館2F入口付近)		
9:30~11:30	①体育：創造的な運動内容を考える (岩崎)	②図工：創造的な紙の造形「手で見る絵画」 (西村)	③音楽：子どもの創造的な音楽活動をはぐくむために (坪能)
昼休み	(50分)		
12:20~14:20	①図工：創造的な紙の造形「手で見る絵画」 (西村)	②音楽：子どもの創造的な音楽活動をはぐくむために (坪能)	③体育：創造的な運動内容を考える (岩崎)
休憩	(10分)		
14:30~16:30	①音楽：子どもの創造的な音楽活動をはぐくむために (坪能)	②体育：創造的な運動内容を考える (岩崎)	③図工：創造的な紙の造形「手で見る絵画」 (西村)
16:30~17:00	各部屋にてまとめ		

※修了認定については、各分野毎の時間内に筆記又は実技試験によって行う

選択領域③の日程

- ◎ 理科実験・観察の取り組み ―実験機器・材料の安全な取り扱い― (8月22日(金))
 集合…香雪館201教室
 ☆生活に密着した材料の物理的特性 …物理第2実験室
 ☆身近な化学製品とその取り扱い…化学第3実験室
 ☆生き物の殖え方と遺伝-植物を中心にした観察・フィールドワーク…自然科学実験室 I

9:00~ 9:45	受付 (香雪館2F入口付近)		
9:45~10:30	講師紹介と講座内容説明		香雪館201教室
10:30~12:00	①生活に密着した材料の物理的特性 (小澤)	②身近な化学製品とその取り扱い (武村)	③生き物の殖え方と遺伝-植物を中心にした観察・フィールドワーク (関口)
昼休み	(60分)		
13:00~14:30	①生き物の殖え方と遺伝-植物を中心にした観察・フィールドワーク (関口)	②生活に密着した材料の物理的特性 (小澤)	③身近な化学製品とその取り扱い (武村)
休憩	(15分)		
14:45~16:15	①身近な化学製品とその取り扱い (武村)	②生き物の殖え方と遺伝-植物を中心にした観察・フィールドワーク (関口)	③生活に密着した材料の物理的特性 (小澤)
16:15~17:00	まとめ		香雪館201教室

※修了認定については、各分野毎の時間内に筆記又は実技試験によって行う

修了認定の方法

➤ 必修領域・選択領域① 試験 (60分)

必修 : 4問×2日

選択① : 1問

各領域毎に合議により責任者がまとめる

➤ 選択領域②, ③ 筆記、実技等

各講習時間内に行う

各領域毎に合議により責任者がまとめる

課題

- ① **勤務校園、年代**などによる受講者のニーズに対応する講義（演習）をデザインし、実施することは難しい。
- ② 「学校現場が直面している状況（実践）」と「各学問分野の最新の成果（理論）」を適切に結びつけるような講義（演習）をデザインし、実施することは難しい。
- ③ 「更新講習」の質を保つために、どの程度の厳しさで「認定」評価をすべきか。
- ④ 「更新講習事後アンケート」の結果を踏まえ、次年度の講義（演習）をどう開設すべきかの検討。

- ⑤ 必修と選択をセット（30時間）で開講すべきか。
（受講生はセットを希望する）
ニーズに即した**選択領域の講習**を広げたい。
（学部・学科への理解を図る）
- ⑥ 講習のための**委員会組織、事務組織**の検討。
- ⑦ 不測の事態が発生した場合の対応の仕方。
（マニュアル等が必要）
- ⑧ **申込方法・内容**の検討と**キャンセル**への対応
- ⑨ 広報に関する検討